

1都7県から15チームが参戦

東京都市大が「エコ1チャレンジカップ」開催

手づくりのEVで中・高校生が勝負

東京都市大学（中村英夫学長）主催の「都市大エコ1チャレンジカップ2012」が25日、東京都多摩市の東急自動車学校で開かれた。中学・高校生による手づくり電気自動車（EV）のコンテストで、首都圏を中心に1都7県から15校15チームが参戦、栃木県立今市工業高等学校（栃木県日光市）が決勝・予選の合計タイム15分1秒で優勝した。



快調に走る今市工業高校の「トキ」号。17「トキ」号が特設

ものづくりの楽しさ、環境・エネルギー問題認識の機会に

周囲の後半、バッテリーが消耗しスピードに乗れないEVもあったものの、ものづくりの楽しさ、環境とエネルギー問題の認識と体験、創造性・富む人材の育成という大会趣旨を十分に感じ取ることができた大会だった。

優勝した今市工業高校のEVレースに登場した。10週の合計タイムは15分14秒とわずかの差だった。2年前に先



中学生チームで参戦。「和光電力W」号は堂々の2位



普通工学部理学科はまばかりのチーム。デザインが評価された

輩達が作った車両（三輪車）を改造して重心を下げ、乗りやすくした。

女子学生チームは繊細、奇麗に仕上げコンテストには多々だけの

結果は23分28秒と10分タイムで15チーム中9位だったが、女子力を遺憾なく発揮し、車両を繊細できれいに仕上げている。総合2位の「和光電力W」とともに優秀デザイン賞を受賞した。

チームも参加。普通工学部中学校・高等学校（東京・港区三田）の普通工学部理学科は高2、中2、中1で構成する女子学生チーム。先生の指導を受けながらアルミフレームをホルト締めしたボディの「まぎやるII」で参戦。女性1人で持ち運べ、車に話めるコンパクトEVが開発コンテストで

バッテリー消費抑え、走行タイム競う

栃木・今市工高が優勝

エコ1チャレンジカップは、東京都市大学が1998年から「バッテリーカーコンテスト」として継続実施してきたものを今年から任切り直し、参加者がさらに熱中できるように走行タイムを競う競技会として実施することにしたものだ。

中学・高校生が手づくりするEVについて、モーターの規格はないが、バッテリーは大会実行委員会が配送するハイブリッドの市販バッテリーを使うことがレギュレーションで規定されている。競技コースは1周500m、予選2周・決勝戦8周の計10周の走行タイムの合計で競い合う。

早く走りなければならぬが、バッテリーの消耗も抑えなければならない。大会実行委員会委員長の榎雄工学

部教授によると、「ものづくりコンテストのエントリークラスに位置する競技会」だとして開発、車両重量17kgと超軽量化を図った。「シャフトの溶接とタイヤの組み付けに

「トキ」号は、車体の強度を落さず早く走れることを目指して開発、車両重量17kgと超軽量化を図った。「シャフトの溶接とタイヤの組み付けに

の溶接とタイヤの組み付けに百努力した」と学生達は話していた。モーターの制御も自分で工夫し、オン・オフの切り替